

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	男女共同参画施策推進事業			事業コード	0120
担当課等	所属名	市民部 男女参画国際課	担当係名		
	課長名	市民部 男女参画国際課	担当者名	細田 繭子	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	心がつながる相互理解	コード 3	施策	人権を尊重する地域社会の形成	コード 2
	基本事業	男女共同参画意識の高揚と活動支援	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 3款 1項 6目 男女共同参画推進事務 (004-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 59年度～)		
事務事業の概要	男女平等を前提とした男女共同参画社会の実現のため、総合的、計画的に事業を行う					
根拠法令等	男女共同参画社会基本法、盛岡市男女共同参画計画					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
国の「国内行動計画」や女性市議会議員の要望により、昭和59年青少年婦人室、同年婦人懇談会が設置された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
昭和63年市議会で拠点施設要望が出され、女性団体の要望、女性懇談会の要望を受けて、平成12年6月1日に女性センターを開設した。 ・平成14年6月市議会でジェンダーフリー反対意見が出された。 ・DV防止法が改正されたことにより、19年9月及び12月議会で基本計画策定等の意見や要望等が出された。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
・平成11年男女共同参画基本法、平成13年DV防止法、平成14年岩手共同参画推進条例の公布により、市民意識は高まっている。 ・平成17年盛岡市男女共同参画計画を策定、平成18年見直しを行い、平成19年度指標及び目標数値を設定、目標達成に向け事業を推進する。 ・平成18年岩手県が主催する研修は「サポーター養成講座のみになったため、新たに「リーダー養成講座」を実施、人材の育成を図る。 ・平成19年7月DV防止法が改正され、市町村の基本計画の策定及び支援センターの設置が努力義務となった。 ・平成21年4月に盛岡市配偶者暴力防止対策推進計画を策定、6月に配偶者暴力相談支援センターを設置し、DV被害者支援の強化を図る。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 盛岡市人口	単位	人
			B. 庁内関係各課	単位	課
			C. 女性団体数	単位	団体
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 女性懇談会開催回数	単位	回
			B. なはんネット登録団体への情報提供件数	単位	件
			C. 「あの・なはん」発行部数	単位	部
		⑥成果指標	A. 女性委員比率	単	%

<p>⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)</p>	<p>講座等への参加促進 ・男女共同参画の視点に立った施策推進 ・審議会等女性委員の就任率を上げ、市政への女性の参画を推進する ・女性団体活動の一層の推進、人材育成</p>	<p>⇒</p>	<p>(意図の達成度を示す指標)</p>	<p>【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】</p>	<p>位</p>	
<p>⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)</p>	<p>男女共同参画社会になる</p>	<p>⇒</p>	<p>⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)</p>	<p>B. なはんネット登録団体数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】</p>	<p>単位</p>	<p>団体</p>
				<p>C. 人材育成講座等受講者数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】</p>	<p>単位</p>	<p>人</p>
				<p>各種審議会の女性委員就任率(単位:%)</p>		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	盛岡市人口	人	297,592	297,267	297,267	298,148	298,148	298,148	26年度 298,148
対象 指標B	庁内関係各課	課	49	49	49	49	49	49	26年度 49
対象 指標C	女性団体数	団体	54	54	60	61	60	60	26年度 60
活動 指標A	女性懇談会開催回数	回	2	1	2	1	2	2	26年度 2
活動 指標B	なはんネット登録団体への情報提供件数	件	20	20	24	13	24	24	26年度 24
活動 指標C	「あの・なはん」発行部数	部	278,600	278,000	278,000	279,400	278,000	278,000	26年度 278,000
成果 指標A	女性委員比率	%	28.2	29.6	30.0	30.3	32.0	33.0	26年度 35.0
成果 指標B	なはんネット登録団体数	団体	54	54	60	61	60	60	26年度 60
成果 指標C	人材育成講座等受講者数	人	11	10	10	11	10	10	26年度 10

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	****
事業費	A	千円	1,319	1,278	1,384	1,231	1,176	1,176	****
財源 内訳	④国	千円							****
	⑤県	千円							****
	⑥地方債	千円							****
	⑦一般財源	千円	1,319	1,278	1,384	1,231	1,176	1,176	****
	⑧その他	千円							****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	1,319	1,278	1,384	1,231	1,176	1,176	****
	延べ業務時間数	時間	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	8,119	8,078	8,184	8,031	7,976	7,976	****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 男女共同参画社会の実現は、人権を尊重する社会の形成につながる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 男女共同参画社会基本法に基づき、行政が主導して取り組むべき課題である。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 男女共同参画社会の実現のためには、市民全体を対象とすべきである。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 現在の意図を確実に実行することで成果が上がる。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 人材を育成、発掘し、活用することにより、男女共同参画推進につながる。ホームページや情報紙を活用して、情報を発信することで、より広く浸透を図る。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 男女共同参画推進事業は、少子高齢化や教育、福祉など様々な範囲に関係する。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 国、県の男女共同参画推進事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 男女共同参画社会基本法により、地方公共団体の責務として、その区域の特性に応じた施策を実施することが定められている。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: ホームページや情報紙を活用して情報提供の効率化を図る。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 最小の人員で行っているため、削減の余地はない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること                  特に、審議会等の女性就任率向上について、全庁あがでの積極的な取り組みが必要である。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？                  (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性就任率の低い審議会等の関係部署を対象にヒアリングを行い、意識啓発を図った。</li> <li>・関係部署ごとの女性登用推進計画を作成、進捗状況を庁議に報告している。</li> <li>・人材育成のための研修等を充実するため、「リーダー養成講座」を実施した。</li> </ul>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>審議会等への女性委員の登用については、徐々にその成果が現れてきているものの、実績値が計画地を下回った審議会等もあることから、引き続き担当課への意識啓発が必要である。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携                 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
														
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>審議会等への女性委員の登用率をさらに向上させるため、引き続き担当課への働きかけを行う。</p>														